



葵・城北ブロック交流会

岡崎市現職教育委員会特殊教育部会 平成15年12月12日発行



子どもと親の集いブロック交流会

矢作中学校長

鈴木 忍

長い間親しまれてきた「子どもと親の集い運動会」が諸般の理由でその歴史を閉じることとなった。存続を望む声も強かったが、この機会により子供たちの成長の糧になるような取り組みはできないものかと、ブロック毎の開催による「子どもと親の集い交流会」が発案された。

より地域に密着し、一年に一度の交流ではなく、日常的な交流へと発展する機会でありたい。毎日の授業に直結し、生きて働く力になるような会にしたい。同じ地区の小中学生の交流から、就学への見通しや保護者相互の情報交換のできるような場が欲しい。そんな願いの実現のためにそれぞれのブロックで検討が加えられた。

もともとこのようなブロック交流会や学校毎の親子活動の機会は、様々に持たれてきた。健常の子と違って、障害のある子の教育は、教室のただけでは十分達成されないことは、自明のこととして受け取られ、実践されてきたのだ。

今までは、それぞれの学校の事情で開催にばらつきがあったものの、今回全ブロック単位で、計画的かつ継続的に行われるようになったことは、たいへん喜ばしいことと考える。岡崎ライオンズクラブ様からの助成も継続して行っていただけというところで本当に感謝に堪えないが、ブロック校長会等でも、この行事が大きく育つように支援をしていかなければと思っている。

特別の場で行う特殊教育から、教育的ニーズに応じた教育支援への転換が今、求められている。保護者の方々の共同作業を基盤に、より新しい教育を生み出していきつかけになればと願っている。

研究会だより

愛知県教育委員会特殊教育課 学校訪問

平成十五年五月二十八日(水)
六ツ美中学校・矢作北小学校

県教育委員会・市教育委員会の特殊教育担当の先生方に、今後の特殊教育のあり方を指導していただくとともに、岡崎市の特殊教育部の取り組みを報告する会が、ありました。

午前中は六ツ美中学校でパソコンを活用した作業学習の授業を、午後からは矢作北小学校で、たんぼぼ組の生活単元学習・ひまわり組の総合的な学習の時間の授業を参観していただきました。子供たちは、たくさん先生方の前に、いつも以上に張り切って学習に取り組むことができました。その後の研究協議会では、授業づくりや児童とのかかわり方について、多くの先生方から建設的な意見をいただきました。そして、県教委の先生方からは、授業や個別の教育計画、さらには、特殊教育から特別支援教育への大きな動きについて教えていただくことができました。

新年度早々の公開授業のため準備不足ではありましたが、多くの先生方と共に子供たちを見つめ、授業を振り返ることができました。

健康教育を核にして

平成十五年六月二十四日(火)
本宿小学校・美川中学校

「(これから)じゃがりこは、やめる」「(おやつは)くだものにかえる」
肥満気味なA子の学習後の言葉である。本宿小と美川中の両校は、「自他を大切にし、生涯にわたり健康的な生活を実践していく子供の育成」をテーマに研究を進め、子供たちが自分の生活より健康的なものにしていこうという意欲を高めることを目指して授業実践してきた。

本宿小学校の三組では、養護教諭の「おやつと体への害」の話をきっかけに、本やパソコン、先生たちへのインタビューで「体によいおやつ」について調べて学習した。研究発表会当日は自分の好きなおやつの中で砂糖や油の多いおやつ、少ないおやつ、体によいおやつが分かった。そして、これからの自分のおやつについて考えた。虫歯が六本あったB男の、お母さんへの「おやつのお願い」の手紙である。

チョコレートは、もう買わないですね。体にいい果物や野菜を買ってください。お願いします。

三河教育研究会特別支援教育部会

夏季研修会

平成十五年八月一日(金)
蒲郡市民会館

「生きて働く力を育てる教育のあり方を求めて」をテーマに、協議会および講演会が行われました。岡崎からは、東海中学校の森先生が、『就学相談・指導』の分科会で提案をしました。

「親の願いをふまえた中学校における就学指導」についての提案では、将来の社会自立に欠くことのできない力として『人とかわる力』を取り上げていきます。人とかわる力を育てるための手立てとして『個別の指導計画』を作成し実践することで親の願いを取り入れた指導が行えると提案しました。就学指導で大切なことは、保護者から「このクラスに入って、少人数の指導または個別指導を受ける中で、力が伸ばしてもらえ」という信頼感を得ることです。森先生の実践では、生徒の実態をみて、保護者との連絡や話し合いを通じて、子供の今後伸ばしていくかなくてはならない力を把握していることがうかがわれました。

今後の特別支援教育の方向性を考えると、担当者は専門家としての研修を深めるとともに、『個別の指導計画』を作成・実施していかななくてはならない時代になったといえるでしょう。

教科・領域基礎研修会

平成十五年八月八日(金)
六ツ美西部小学校

台風接近中の蒸し暑い天候の下、研修会が行われました。午前の部では二班に分かれて講習会がもたれました。

A班では実際に「@発見島」というソフトを使って講習が進められ、ゲーム感覚で楽しく学習教材の扱いに慣れることができました。B班では特殊教育に有益な情報を得ることのできるホームページの紹介があり、学校へ戻ったら教室ですぐにも活用したいものばかりでした。

午後の部では、経験豊富な山田先生(生平小学校)・岡田先生(六ツ美中学校)の授業を実際のビデオを見ながら分析・検討会が行われました。

特に山田先生の授業の中では学習課題に対する子供の動機づけについて、また、岡田先生の授業の中では、生徒の能力に応じた目標の設定について真摯かつ建設的な意見の交換が行われました。天候不順の中ではありましたが、有意義な研修会となりました。



そよかぜ相談室から 4

相談員 酒井 順子

教育研究所は、今年七月八日に若宮庁舎から教育文化館（旧税務署跡地）に移転し、それに伴い「そよかぜ相談室」も同館一階に移転しました。

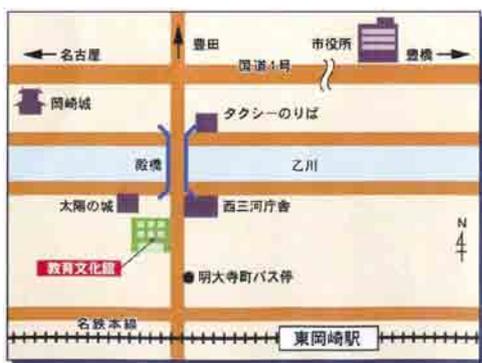
来年度就学予定のお子さんや在学児についての相談を、月曜日から土曜日まで行えるようになりました。また、知能検査も田中ビネーVとWISC IIIがありますので、ご利用ください。

今年度より、微力ですが相談のお手伝いをさせていただくことになりました。ご両親のお気持ちを十分にお聞きして、お子さんの幸せを考えた適切な相談ができるよう願っています。

※ そよかぜ相談 申し込み先

教育研究所 そよかぜ相談室

TEL 23-0280



〒444-0860

岡崎市明大寺本町1丁目4番地

招待映画鑑賞会

今年で、十七回目を迎える、ツツイエンターテインメントコーポレーション様のご厚意による映画鑑賞会が、夏休みの後半、八月十七日から二十九日にかけて実施されました。

小中学校の児童生徒・保護者・教師など、合わせて約三〇〇名の参加がありました。本年度は、「仮面ライダー・アバレンジャー」の映画を鑑賞しました。テレビ番組の劇場版で、大きなスクリーンの迫力に圧倒され、楽しむことができました。

鑑賞後の子供たちの絵や作文は、臨場感にあふれ、生き生きしたものになりました。また、映画館への往復は交通機関を利用した学習になり、夏休みの一日を有意義なものにできました。



(梅園小6年 後藤 美智子)

岡崎ライオンズクラブ招待

豊橋総合動植物公園

九月十七日に岡崎ライオンズクラブ様のご招待で、百五十五名の小学生が豊橋総合動植物公園へ出かけました。結団式では、小豆坂小学校の山口翔太さんが、お礼のこトバを立派に言いました。

太陽の日差しがまぶしく感じられるなか、緑いっぱい広い公園を見学しました。動物園では、ゾウやサルをはじめ、たくさん動物たちと出会いました。アフリカ園を悠々と歩くシマウマやキリン



(絵 連尺小児童)

の姿をじつと見つめる子供の姿がありました。ラッコやペンギンの水

槽前から、離れられない子もいました。大きな歓声が上がりました。野外恐竜ランドには、元気に遊ぶ子供たちの声や笑顔が溢れていました。解散式では、竜美丘小学校の藤岡大樹さんが、楽しかった思いを込めて、感謝のこトバを言いました。時のたつのを忘れるほど、充実した一日でした。

修学旅行で総合学習

新香山中 三年 新美 晃弘

修学旅行では、総合学習やクラス別研修がありました。事前に見学したい所を、電話で予約しました。総合学習では、春日駅から新宿まで、地下鉄大江戸線で都庁ビルまで行きました。展望室は二つあって、年中無休でどちらか開室しています。エレベーターで四十五階まで五十五秒で、あつという間でした。展望室からながめたら高層ビルがたくさん見えました。そこから山手線で池袋まで行きました。僕は車が好きなので、トヨタアムトラックスへ行きました。映像による迫力のレーザー体験が楽しめるコーナーもありました。クラス別研修では、宿泊したホテルのある千葉市美浜区の施設を見学しました。ハイテクビル群が全部立体道路でつながっていて、歩行者は、ノンストップで目的地へ行くことができます。夢のようなモデル都市だと思いました。シャープと千葉マリスタジアムを訪問しました。どちらも親切に説明していただき、よい思い出になりました。



子どもと親の集い

ブロック交流会

今年からブロックごとに交流会を開くようになりました。各ブロックの様子をお知らせします。

矢作・矢北ブロック

八月六日

楽しかったバーベキュー

私は火舞いをしました。火舞いはものすごくこわくて、火がブオーンといつていました。けど、火舞いは楽しかったです。

しっぽとりをしました。私はしっぽとりで、C子ちゃんのしっぽをとろうとしたら、私はしっぽをとられてしまいました。楽しかったです。

花火で一番おもしろかったのは、ねずみ花火です。ねずみ花火は、回っていて、とても楽しかったです。

〈A子〉

一番感動したものは火舞いです。火舞いは、火をつける前は練習をずっとしました。ぼくの順番が、まわってきた、火がついて

てきんちようして、さいごにみんなが、はくしゅをしてくれました。

〈B男〉



新香山・岩津・北ブロック

九月九日

子どもと親の集い交流会

わたしたちのブロックでは、各学校

で出し物やゲームを考え、みんなでゲームを楽しみました。



初めは、『さんぽ』の歌を歌い、次にミッキー体操をしました。

ゲームの内容は、まと当てや障害物リレー、それから、ドレミファバスケット、パズル、福引き、貨物列車などです。子どもたちが楽しんで活動できるように音楽を流したり、プレゼントを用意したり工夫しました。プレゼントは、先生たちが、家や学校にあった物を持ち寄って作りました。

子供たちは、自分たちの出し物の時に自己紹介したり、交流会用に用意した大きな名札を付けたりして、お互いの名前も覚えられるようにしました。わたしの学級の子供たちは、ブロック交流会がとても楽しかったようで、今でも、ときどき、「ブロック交流会、ブロック交流会。」と言うことがあるほどです。

葵・城北ブロック

九月二十六日

楽しかったなかよし交流会

葵・城北中・井田・連尺・広幡小の子供たち、保護者、先生たちが連尺小に集い、今年初めてのなかよし交流会が行われた。思い思いの絵を描いた自己紹介カードを出会った友達にじゃんけんをして手渡した。恥ずかしそうにそれでもうれしそうにじゃんけんをする子供たちの姿がほほえましい。続いて各校の出店が始まる。手作り楽器、魚つり、ポップコーンにどんぐり、わなげ。お客さんを呼び込む弾んだ声。

「わあい、笛の音がするよ。」「魚がつれた。しおりになつてる。」「ポップコーンおいしいよ。」「どんぐりごま、まわるよ。」「ポケモンわなげだよ。」と喜ぶ声が聞こえてくる。中学生のお兄さん、お姉さんのしつかりした司会のもと、最後は、かもつ列車のゲームで友達の名い列ができた。あつという間に過ぎた半日。

笑顔いっぱい、おみやげいっぱい、のなかよし交流会。後日、友達からの手紙も届いてうれしかった。



竜海ブロック

九月三十日

楽しかったよ、ブロック交流会

きのう、「子どもと親の集い交流会」へ行きました。ぼくは、自己しようかいカード交かんゲームの司会をしました。練習よりもきん張りました。声が小さくなってしまいました。つぎにやるときには、大きな声で話したいです。数字あてゲームでは、校長先生がペアになっていっしょに走ってくれました。いっしょになつてくれたから、走ることができました。

ありがとうございます。ぼくは、白チームでした。キャタピラレースをがんばりました。



大玉転がしは、二回勝負して二回とも負けてしまいました。でも、ざぶとん取りゲームでは最後までこのりしました。最後の三人の中に三島小の子が二人このりしました。うれしかったです。

お母さんは、仕事でいそがしかったけど、最後に来てくれました。いっしょに写真をとることができました。お母さんが来てくれてうれしかったです。お母さんまた来てね。

〈六年 R男〉